

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業における解体用機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	共同住宅新築工事において杭頭処理中天端に乗ってブレーカーを使用中ノミ先が滑りブレーカーと鉄筋の先端に左手薬指を挟み負傷した。	43	1~9
5	9~10	木造2階建て解体工事現場で、作業員が重機のアタッチメント交換時に、固定ピンの位置合わせをしていた際、無意識に置いていた左手を機械の部品に挟まれた。	21	30~49
7	9~10	木杭（φ25×?1.6m）を平コンテナに収納する作業をしていた。サイズが大きめだったため、重機オペレーターが重機で木杭をつまむことになり、被災者は、重機オペレーターがつまみやすいように、木杭を縦向きにして立てて支えていた。重機オペレーターが木杭の上のほうを重機でつまんだ際、木杭が動き、被災者の左内股に当たり、被災者が倒れ、自分のヒジが肋骨に当たった。	55	1~9
7	16~17	フェンスのコンクリート基礎解体時、側歩道から1m程離れ、ガードフェンスでL型に囲われた場所で、重機オペレーターと合図者による解体作業中、ユンボのクラッシャーが合図者の右足に接触し、土間とクラッシャーの間に合図者の右足が挟まれた。またオペレーターが挟まれた状態を回避しようとブームを上げた際、クラッシャー爪部に体が引っ掛かり、合図者が転倒し、基礎コンクリートの破砕面に左頬をぶつけて裂傷を負った。	62	10~29
9	14~15	依頼のRC造（コンクリート製）煙突解体工事において、煙突解体中コンクリート破片が右目眼球にあたり負傷した。	76	1~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html